

「みなと」を活用した支援物資輸送訓練(文里港～湯崎漁港)を実施

和歌山県「命のみなとネットワーク」推進協議会

日 時：令和7年10月29日（水）10:00～12:45
場 所：文里港（-4.5m岸壁）～ 湯崎漁港 浮き桟橋
実施主体：和歌山県「命のみなとネットワーク」推進協議会
参加者数：約90名

和歌山県「命のみなとネットワーク」推進協議会

概 要：災害時の陸路分断等を想定して、「みなと」の機能を活用し海上輸送による救助・救援や物資輸送等の災害対応支援を行うためのネットワークを形成することを目的に、和歌山県下の市町及び港湾管理者等で構成する協議会を設立。港湾相互の地域間連携の強化、関係機関の連絡体制の確立、訓練の実施等について取り組む。

構成機関：和歌山県県土整備部港湾空港局及び港湾所在の6地方振興局等、港湾所在の14市町（※）、和歌山県港湾建設協会、近畿運輸局和歌山運輸支局、近畿地方整備局港湾空港部、近畿地方整備局和歌山港湾事務所（事務局）

※和歌山市、海南市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、湯浅町、広川町、由良町、日高町、美浜町、白浜町、串本町、那智勝浦町

【訓練想定】台風の接近に伴い、短期的・局地的に記録的大雨が継続した。和歌山県紀南地方各地で土砂崩壊や河川が氾濫し、白浜地区で孤立地域やライフラインの寸断が発生した。

【訓練項目と使用船舶等】

□支援物資積込訓練【文里港】



□支援物資受入訓練【湯崎漁港】



「みなと」を活用した支援物資輸送訓練(文里港～湯崎漁港) (概要写真)

和歌山県「命のみなとネットワーク」推進協議会

■文里港

(1) 訓練開始挨拶・訓練想定説明【10:00～10:10】



(2) UAVによる周辺状況確認訓練【10:10～10:20】

・ナローマルチ・UAVを使用した周辺状況確認



(3) 支援物資積込訓練(飲料水)【10:20～10:35】※海和歌丸 欠航
・海洋環境整備船「海和歌丸」から支援物資(飲料水)を支援物資カーゴへ積み替え



(4) 支援物資積込訓練(食料)【10:35～10:55】

・田辺市支援トラック、港湾業務艇「はやたま」の支援物資(食料)を支援船へ積込



(5) UAVによる港湾施設点検訓練【10:55～11:25】

・UAVレーザー測量による港湾施設点検のデモンストレーション実施
・測量機器の使用方法や留意点などの説明



支援船出港

■湯崎漁港

(6) 訓練想定説明【12:05～12:10】



(7) 支援物資受入訓練【12:10～12:25】

・支援船から支援物資を陸揚げし、数量を確認して輸送場所ごとに振り分け



(8) 支援物資の避難所輸送訓練【12:25～12:30】

・支援物資を白浜町、県の公用車に積込



(9) 講評・訓練終了挨拶【12:30～12:45】



・海上運搬 支援船は文里港を出港後、誘導船による先導で湯崎漁港へ入港

